

未来を切り拓くのは 1人の100歩ではない
100人の1歩づくりへの挑戦！！

35歳 子育て真っ最中 / 無所属

南出 けんいち

志



1979年生まれ 上條小学校～小津中学校～浪速高校～関西学院大学商学部卒（経営組織論専攻・体育会ボクシング部主将）
（株）ニチロ ※現 マルハニチロ（営業・近畿代表として本社商品開発）～（有）南出製粉所（開発商品がメディアで注目を集める）
ビジネスマン時代に世界の流れと日本の凋落を体感したことが、世界の流れから国家観を持って地域を考える、という政治活動の礎に。
・龍馬プロジェクト全国会 国民啓発委員長 ・林英臣政経塾 関西4期生 ・公益社団法人 日本ストリートダンススタジオ協会 理事
第19号 2015年4月発行 泉大津市助松町 2-6-21 TEL:0725-23-0710 FAX:0725-32-8438 mail:info@mina-ken.net

大 問題です。候補者不在の状況を一緒に考えて下さい！

4月19日に市議会議員選挙が告示されます。現在の状況は定数17に対して候補予定者が17。日々活動をするなかで「選挙ないでしょ」という声が増えています。「選ぶ権利がなくなる」という声も多く聴きます。なぜこのような状況が生まれたのかを考える必要があります。大きく考えられることは①政治（家）の仕事が魅力に感じないこと

②人を育ててこなかったから、この2点が大きな要因だと考えています。（まだまだ、ぼく自身力不足です・・・）

①に対しては、これまでの政治に対する負のイメージを、議員一人一人が、日々の活動で背中を見せ続け、プラスイメージに変えるための圧倒的な努力と行動が必須だと肝に銘じています。議会に挑戦したいと思える議会の土壌づくりも必須です。そして、市民の皆さんも議員が発信する情報に触れて頂き（発信していないことは論外です）、イメージではなく自分たちの目で判断してもらうことと、この風潮を共に育んでもらうことがなくてはなりません。

②に対しては、今の結果は将来のリーダーをそれぞれの地域、あるいは市全体で、時間をかけて育てることをやってこなかった結果です。選ぶ権利がないという受け身の発想から、自分たちで候補を育てていくという主体性を持った選択肢に意識を変えていかないとこういう結果を招くことにもなります。受け身ほど危険なことはありません。

将 来のリーダーを一緒に育てましょう。

5年前から日本各地にも泉大津にも松下村塾が必要だという思いからはじめた、大学生や社会人を受け入れてのインターン活動は、①②の問題を以前から捉えて取り組んできたものです。まちづくりを通じて、地域ぐるみで将来人材を育てながら、まちを元気にしていこうという活動です。これには5年10年と時間がかかりますが、これこそが必要だと思います。いつの時代のどのタイミングを見ても、泉大津の各所に、地域を担う志と資質をもったリーダーが存在するという状況は、みんなでつくるものです。ぼくのインターンに参加し、地域の方々と一緒に育ててきた若者の中には、将来市議に立候補したいという若者も現れています。生半可ではできない取り組みですが、先頭に立って、4年後8年後の市議会議員選挙も見据えて将来の人財を育てる活動を続け、拡げていきます。ぼくが手掛けているインターンを受け入れての人材育成やまちづくり活動は、いつでも門戸を開き地域の方々の参加を歓迎しています。一緒に考える機会も設けますのでこの機会に参加して下さい。